



至善館

SHIZENKAN

大学院大学至善館
イノベーション経営学術院

2024 年度科目等履修生募集要項

＜対象科目＞

社会イノベーション創出の挑戦

～NPO・行政が生み出す社会イノベーション

目的

科目等履修生制度は、至善館の専門職修士課程の開講科目の一部を、修士課程の履修生以外の方に科目単位で履修いただける制度です。科目ごとに募集・選考を行った上で若干名の方に履修を認めるもので、履修を完了された方は単位を取得することができます。

この募集要項では、日本語にて開講する「社会イノベーション創出の挑戦

～NPO・行政が生み出す社会イノベーション」科目について記載します。科目等履修生を受け入れている他の科目については、P.7を参考にしてください。

科目の概要

(シラバスより抜粋。詳しくは本資料の末尾にシラバスを掲載しておりますので、参照してください。)

社会イノベーション創出の挑戦

～NPO・行政が生み出す社会イノベーション

社会イノベーションを生み出す発想や実現する能力を身に着けるためには、ビジネスを通じた社会課題解決(インパクトビジネス)についての理解に加えて、NPOなどの「ソーシャルセクター(市民社会)」や「パブリックセクター(政府)」が多様な主体と連携して主導する社会課題解決への本質的な役割の理解をすることは必要不可欠である。

この授業では、それらソーシャル・パブリックセクターの本質的意義や、今世界で生み出している変化やイノベーションについて考える。「企業とは何か」を考えてきている生徒の皆さんにとっては、「NPOとは何か」「行政(政府)とは何か」という問いへの自分なりの答えを探究する旅であるといえる。

本科目では、至善館で学ぶ学生に加えて、NPOなどの社会課題の実践経験を持つ人材を単科受講生として受け入れる。異なるバックグラウンドを持つ人材の共創的な学びの空間を通じて、社会問題への理解やその解決における葛藤への理解を深めるとともに、社会に変化を生み出す事業構想の力を高めることが狙いである。

授業開催方法・日時

至善館キャンパスもしくは Zoom を利用したオンラインにて実施することを予定しております。開講日時は以下の通りです(日本標準時間)。

セッション1:2024年11月2日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション2:11月9日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション3:11月16日(土)8:45-12:00(オンライン:Zoom)

セッション4:11月23日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション5:12月7日(土)8:45-12:00(オンライン:Zoom)

セッション6:12月14日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

選考方法

(1) 選考内容

入学者の選考は、出願書類による一次審査の後、面接試験による二次審査を経て、判定します。面接試験では、出願書類の内容を含め、本科目へ参加いただくにあたっての問題意識や適性について、総合的な評価を行います。本科目は日本語で実施しますので、選考についても日本語で実施します。本プログラムの選考では、GMAT や GRE のスコア提出を求めません。

(2) 面接試験

面接は原則としてオンラインにて(Zoom を利用)実施することを予定しております。面接日時は出願時に候補の中から選択していただきます。URL 等の詳細については、第一次選考結果通知時にお知らせします。

出願資格

出願時点において、次のいずれかに該当する方で、本学入学までに、原則、常勤者として満3年以上の社会人経験を有する方が出願の資格を有します。

- (1) 大学を卒業した方
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 文部科学大臣の指定した方
- (5) 本学において修士課程を受けるにふさわしい学力および実務経験があると認められた方

出願及び選考プロセス

出願は、本学のウェブサイトより行なっていただきます。出願プロセスは、以下の4つのステップから構成されています。

ステップ1: 出願

- 次の出願フォームの指示に従い、出願してください。第二次の面接審査の希望日程も同時に伺います。なお、出願書類の志望動機の欄は、日本語で記入いただくようお願いいたします。

<https://forms.gle/nqG8K7WbyubxSnMU9>

ステップ2: 書類選考、面接審査日程のご連絡

- 提出書類をもとに、第一次の書類選考を行います。書類選考を通過した方を対象に、第二次の面接審査を行います。書類選考を通過した方に対して、出願フォームに記載頂いたE-mailアドレスに、事務局より面接審査の日程とZoom URLをお送りします。

ステップ3: 面接審査

- 面接審査は、オンライン(Zoom)にて行います。所要時間は30分程度です。

ステップ4: 合否連絡と入学手続

- 書類・面接審査の結果を踏まえて合否判断を行い、合否結果をご連絡します。
- 合格された方は、科目等履修生登録料と授業料の振り込みをいただきます。科目等履修生登録料と授業料の振り込みの完了をもって、科目等履修生としての受講を正式に認めます。

応募締め切り

- 2024年10月17日(木)12:00

面接審査日程(予定)

出願フォームに入力いただいた希望をもとに次の日程のいずれかで30分を予定しています。

2024年10月21日(月)18:30-22:00

2024年10月22日(火)18:30-22:00

2024年10月24日(木)18:30-22:00

合否結果のご連絡日程(予定)

出願フォームに記載頂いた E-mail アドレスに、事務局よりお送りします。

2024 年 10 月 25 日(金)

入学手続きおよび履修手続き

手続きは、合格通知と併せてお知らせする指示にしたがって行ってください。

手続き期限は 2024 年 11 月 1 日(金)です。

出願にあたり入力いただく項目

出願にあたって入力いただく項目は以下の通りです。すべての項目が揃った時点で正式な出願受付となります。締め切りまでに全ての項目が提出されなかった場合、出願は受け付けられません。

1. 氏名
2. 性別
3. 国籍
4. 生年月日
5. 住所
6. 電話番号
7. E-mail アドレス
8. 現在の勤務先
9. 学習歴
10. 志望動機および本科目での学びへのコミットメント
11. 面接日程の希望
12. パスポートの写し(日本国籍以外の方)
13. 在留カードの写し(日本国籍以外の方)

入学検定料について

入学検定料は 2024 年度に関しては不要です。

学費等について

履修にかかる費用は次のとおりです。

科目等履修生 登録料	30,000 円
授業料	100,000 円
合 計	130,000 円

- (1) 授業料には、コースにて用いるケース教材の費用(使用する場合)を含みますが、教科書や参考図書の費用は含みません。
- (2) 前年度または同年度に科目等履修生として他の科目を履修しており、その履修にあたり科目等履修生登録料(以下、登録料という)を支払い済みであった場合、2 科目目以降の登録料の支払は免除されます。

個人情報の取り扱いについて

本学では、提出された出願書類等は、入試関連業務及び入学後の学籍管理関係業務以外には使用しません。本学のプライバシーポリシーについては、本学ホームページをご覧ください。応募した方々は、本学のプライバシーポリシーに同意されたものとみなします。



留意事項

- (1) 履修した科目の単位取得要件を満たした方に、単位を授与し、本人の請求により単位習得証明書を発行します。
- (2) 科目等履修生には、通学証明書(通学定期用)及び学割証は発行されません。
- (3) 本学の科目等履修生であることを根拠とする在留資格は、取得できません。
- (4) 授業が未開講になった場合、受講許可を取り消す可能性がありますのでご了承ください。
- (5) 科目等履修生として単位を取得後、5 年以内に至善館の修士課程に入学した場合、単位取得科目について、4 単位を上限に、取得済みとして認められる場合があります。この場合、当該科目の履修に際して支払い済みの授業料の金額を修士課程の授業料より差し引きます。

科目等履修生を募集する他の科目

至善館では、本科目以外にも、科目等履修生の受け入れを予定しています。以下が、2024年11月から2025年3月の期間における対象科目一覧です。科目により、2言語で提供（日本語・英語）、英語のみで提供しているものがある点にご留意ください。

科目名	言語	開講時期	募集開始
Entrepreneurship and Business Start-up	英語	11月-12月	9月
Challenge of Driving Social Innovation (*) (**)	英語	11月-12月	9月
Global Management: Strategy, Organization and Leadership	英語	2025年 1月-2月	11月
リーダーシップと交渉学 Leadership and Negotiation	日本語	1月-2月	11月
	英語	1月-2月	11月

*本科目「社会イノベーション創出の挑戦」と内容は同じですが、英語で実施します。

**2024年9月-10月に開講した「インパクトビジネスとエコシステムの実践」科目（すでに開講済みのため上記リストには非掲載）においても、本科目と同様に、社会インパクト創出というテーマを扱っていますが、両科目はその焦点に違いがあります。

「インパクトビジネスとエコシステムの実践」では、企業が社会的インパクトと経済的インパクトを両立するビジネスを設計するということの本質について、特に、一見経済合理性がない事業がどう収益性があがっていくのかということを検証します。一方、「社会イノベーション創出への挑戦」科目ではNPO（非営利組織）や行政機関が生み出す社会イノベーションやシステムチェンジの本質について学びます。ここには、企業がこうした組織とどう連携すると社会イノベーションをスケールさせられるのかという視点も含まれます。両科目に参加することで、学生は実践的な社会イノベーションの創出に何が必要か、包括的な視点を得ることが可能となります。



科目名： 社会イノベーション創出の挑戦
～NPO・行政が生み出す社会イノベーション

科目コード： B301EL-24JP

実施年度/学期： 二年次前期

単位数： 1単位（選択科目）

実施期間： 2024年11月2日（土）～12月14日（土）

担当教員： 鵜尾 雅隆 教授、上山 信一 特命教授

授業実施形態： 対面またはオンラインで行う

科目の目的：

社会イノベーションを生み出す発想や実現する能力を身に着けるためには、ビジネスを通じた社会課題解決（インパクトビジネス）についての理解に加えて、NPOなどの「ソーシャルセクター（市民社会）」や「パブリックセクター（政府）」が多様な主体と連携して主導する社会課題解決への本質的な役割の理解をすることは必要不可欠である。

この授業では、それらソーシャル・パブリックセクターの本質的意義や、今世界で生み出している変化やイノベーションについて考える。「企業とは何か」を考えてきている生徒の皆さんにとっては、「NPOとは何か」「行政（政府）とは何か」という問いへの自分なりの答えを探究する旅であるといえる。

本科目では、至善館で学ぶ学生に加えて、NPOなどの社会課題の実践経験を持つ人材を単科受講生として受け入れる。異なるバックグラウンドを持つ人材の共創的な学びの空間を通じて、社会問題への理解やその解決における葛藤への理解を深めるとともに、社会に変化を生み出す事業構想の力を高めることが狙いである。

学修の到達目標：

1. NPO などの「社会課題を解決する」ことを第一義的な目的とした組織が生み出しえる社会イノベーションの価値と可能性、限界性を、世界的に有名な事例検証や実際の社会起業家との対話を通じて体感する。
2. 政府・行政機関アクターの行動原理（機能と限界）、公共政策の形成プロセスを理解しつつ、ケース演習を通じて多様な連携による「エリアイノベーション」の事例を手掛かりに「社会課題」「公共」「政策」「改革」についての洞察を深める。
3. 上記を踏まえて、自らが人生を通じて社会にインパクトを生み出すために、どう今後を設計するかを構想を具体化する。

科目の位置づけ：

この科目は、一年次に提供した「社会システムの理論と人間存在の未来」の授業で得た社会の大きなシフトについての理解や、「企業論－企業、市場そして社会－」「近代哲学、資本主義、人間存在の未来」「東洋思想に見るリーダーシップ」などでの学びを踏まえつつ、具体的な社会イノベーションの創出過程、仕組みや制度、情熱や葛藤などを理解し、社会イノベーションをリーダーとして構想し、行動する力を培う。

学修アプローチ：

1. 講義とケース、ゲスト講師などの対話型の授業を通じて、社会問題に対して具体的なソリューションを生み出している NPO、社会起業家、行政等の事例を検証しつつ、その本質と新たな潮流を概観する。
2. 授業に単科受講生として社会問題解決に取り組む実践者が一定数参加することにより、クラスディスカッションを通じて深く広い学びを実現する。
3. 最終課題としては自らの人生を通じてどう社会にイノベーションを生み出すリーダーになるかについて構想する。

関連リーディング：

- ヘンリー・ミンツバーグ著『私たちはどこまで資本主義に従うのか (Rebalancing

Society) 』 (ダイヤモンド社、2015)

- マーク・J・エプスタイン(著) 鶴尾雅隆 (監訳) 「社会的インパクトとは何か (Measuring and Improving Social Impact) 」 (英治出版、2015)
- 上山信一著『大阪維新』 (角川 SSC 新書、2010 年)
- 上山信一著『組織がみるみる変わる 改革力』 (朝日新聞出版、2014 年)

参考図書：

NPO 等の経験が少ない学生は、以下の参考文献を読むことを推奨する。

- 佐藤大吾、乙武洋匡共著「初歩的な疑問から答える NPO の教科書」 (日経 BP、2015)
- 宮垣元著「NPO とは何か」 (中公新書 2024)
- 鶴尾雅隆、渋谷健共著「寄付をしてみよう、と思ったら読む本」 (日経新聞出版、2018)

行政のあり方についての知見を得る上では、以下の参考文献を読むことを推奨する。

- 上山信一他著『行政の経営分析』 (時事通信社、2018 年)

※ 単科受講生は至善館の生徒が前提としている社会認識を理解するために以下の参考文献と映像資料を事前に見ることを推奨する。

参考文献：

- 宮台真司、野田智義著『経営リーダーのための社会システム論 構造的問題と僕らの未来』 (光文社、2022 年)

映像資料：

- ダーウィンの悪夢

<https://vimeo.com/video/315653075>

※Password : sociology2024

成績評価：

この科目は、次の3つの要素で評価する。なお出席要件（4回）を満たすことに加えて、最終課題のプレゼンの実施およびレポートの提出を、単位取得の必須要件とする。これらを未実施・未提出の場合は、単位の取得はできないものとする。

- 1 セッションの事前・事後課題の提出（30%）
- 2 講義におけるディスカッションへの貢献（30%）
- 3 最終課題（インパクト創出プラン）の発表と提出（40%）

剽窃について：

本学の方針に従い、グループ発表や試験レポートにおけるリファレンス（引用元・参照元の明記）のないカット&ペーストやカンニング（剽窃（ひょうせつ）、第三者による代筆等）、各種不正が発覚した場合、当該科目の成績を F とする。不正行為が二度にわたった場合は、内容の如何を問わず、退学処分とする。

レポートの提出遅延について：

提出期限を過ぎて提出されたレポートは減点対象とし、場合によっては評価対象外となるので注意されたい。

各セッションの概要：

ソーシャルビジネスや社会的インパクトについて知る（Knowing）の要素はあるが、それ以上に自らが実践するうえで必要な感覚を得る（Doing）の要素と、自分自身の人生において自分の社会の中での役割を考える（Being）の要素を重要視している。本コースの最後には、「自分の人生で社会に変化（インパクト）を生み出すということ」について明確なイメージを持つ状態を実現することを目指す。本コースは、全6回のセッションで構成する。

セッション1： NPO や市民社会の存在価値[3 時間]

セッション2： 「共感性」の生み出す価値[3 時間]

セッション3： NPO の多元的スケール戦略を考える[3 時間]



至善館

Graduate School of
Leadership and Innovation,
Shizenkan University

セッション4：公共政策とエリアイノベーション[3時間]

セッション5：社会イノベーションのマネジメント[3時間]

セッション6：自身の人生でのインパクトを考える[3時間]

お問い合わせ



至善館

Graduate School of
Leadership and Innovation
Shizenkan University

大学院大学至善館 事務局

住所：〒103-6117 東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング 17F

電話：03-6281-9011

E-mail：admissions-non-degree@shizenkan.ac.jp